

第240回 番組審議会

1. 日 時 平成27年3月10日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 11名
出席委員数 11名 (欠席委員数 0名)

○ 出席委員 (敬称略)

中村 慶久 (委員長)
竹中 陽一 (副委員長)
—以下50音順—
石田 征広
加藤 裕一
木戸場 美代子
久慈 浩介
斎藤 純
菅原 正二
八木橋 伸之
役重 真喜子
吉田 浩次

○ 会社側出席者 (6名)

佐藤 滋樹 (代表取締役社長)
小原 忍 (専務取締役)
前田 秀男 (取締役技術局長)
藤原 銀司 (取締役)
工藤 浩 (取締役営業局長)
青田 優 (編成部専任部長)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題 『2015年4月改編について』

『山・海・漬 体験もりおか街なかゼミナール！プロの技を教えます！』

平成27年2月21日(土) 18:30～19:00放送

5. 議事概要

今回は、『2015年4月改編について』説明し、その後、2月21日(土)放送の情報番組『山・海・漬 体験もりおか街なかゼミナール！プロの技を教えます！』を審議しました。議事の概要は、以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ 青田プロデューサーからの説明

- ・2015年4月改編におけるポイントは、「生放送」。生にこだわり、今起きていることを伝えることが報道・情報・スポーツの使命と考えテレビで発信する。
- ・月曜から金曜まで昼1時55分から「直撃LIVE グッディ！」がスタート。夕方のニュースは、16時50分から「みんなのニュース」、夜8時54分からは「こんやのニュース」、夜11時30分からのニュースは「あしたのニュース」となり、ひとつのブランドに集約し統一感を持たせるという戦略。ゴールデンタイムの新番組も生放送にこだわっている。
- ・ローカル編成では、ポイントは2つ。1つ目は、深夜帯はフジテレビと同時放送。岩手の視聴者に首都圏と同じタイミングで番組をサービスする。2つ目は、土日の昼帯は再放送番組は避けてファースト版、もしくは準じるものを放送。
- ・『山・海・漬 潜入！もりおか街なかゼミナール プロの技を教えます』は、盛岡商工会議所主催の講座取材した企画。今回は、女性リポーターが、中華菓子作り、万年筆、メイクの仕方、味噌作りを体験した。

●出席した委員からの意見

【2015年4月改編について】

- ・生放送は難しいことも多いと思うが、可能性も高いと思うので期待している。
- ・テレビは臨場感が大切。的確にその場面を生で捉えて出すことは素晴らしいと思うが、常に適した映像があるとは限らない。企画にしてもコメントにしても内容が浅くならないよう注意し、深みのある番組をめざしてほしい。

【山・海・漬について】

- ・番組を見て気軽に参加できる講座だと分り、次は参加してみたいと思った。
- ・万年筆のコーナーに興味を持った。最近は何劫で中々使っていなかったが、万年筆を使ってみようと思った。
- ・男性と女性では感想が違うと思うが、女性としてはメイクの講座は為になる内容だった。
- ・女性リポーターが、「初めて万年筆を使う」と言っていたことに驚いた。
- ・30分で4つの項目を紹介していたが、浅くなぞったという印象だった。
- ・「もりおか街なかゼミナール」の概要について説明がなかった。盛岡だけでなく岩手県内の視聴者向けに概要説明はあった方が良く思う。
- ・講師の名前が出ていなかった。紹介した方が良かったのではないかな。
- ・地元には番組に適したネタが沢山ある。工夫しながら取り上げてほしい。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

* 平成27年3月11日(水) 産経新聞 東北版

* 平成27年3月21日(土)午前4時12分から午前4時15分まで
「めんこいテレビ番審りポート」として放送。

* 据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし

*次回は4月14(火)12時より 当会場にて開催予定です。